

議決権行使レポート

証券コード 6804

会社名 ホシデン株式会社

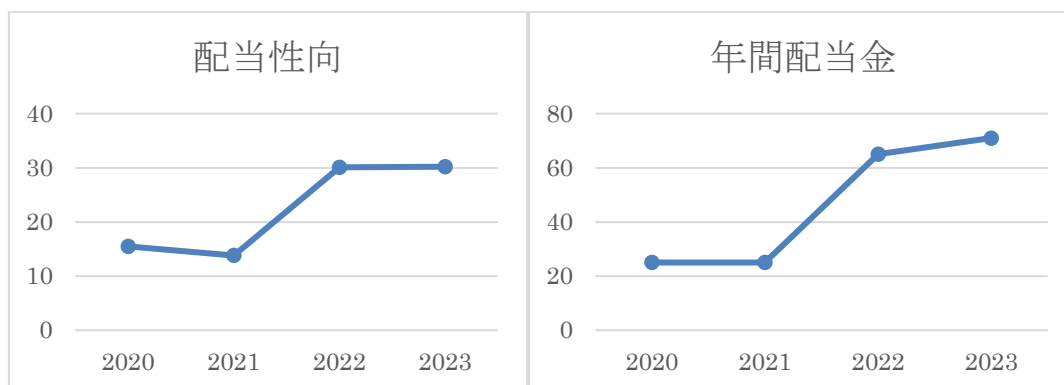
	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役6名選任の件			
古橋 健士 氏	○		
北谷 晴美 氏	○		
堂地 龍 氏	○		
水田 兼正 氏	○		
堀江 廣志 氏	○		
丸野 進 氏	○		
第3号議案 監査役1名選任の件			
丸山 征克 氏	○		
第4号議案 補欠監査役2名選任の件			
西村 一紀 氏	○		
森 正士 氏	○		
第5号議案 役員賞与支給の件	○		

上記の推奨をした理由

・第1号議案 剰余金の処分の件

株式会社ホシデンは、「株主の皆様に対する利益還元を重要政策の一つと考えている」としている一方で、「急速な技術革新に対応する研究開発および生産設備投資等が必要である」としている。そのため、配当性向は30%程度を目指すとしている。

ホシデンの配当性向と年間配当金の推移をそれぞれ図表1、2に示す。図表1から配当性向は上昇傾向にあり、目標の30%程度を達成している。また、図表2から、年間配当金も上昇傾向にあることがわかり、ホシデンが設備投資のために資本を貯蓄しても株主への配当金への影響は小さいことがわかる。したがって、剰余金の処分に関して適切だと言える。



図表1 ホシデンの配当性向の推移

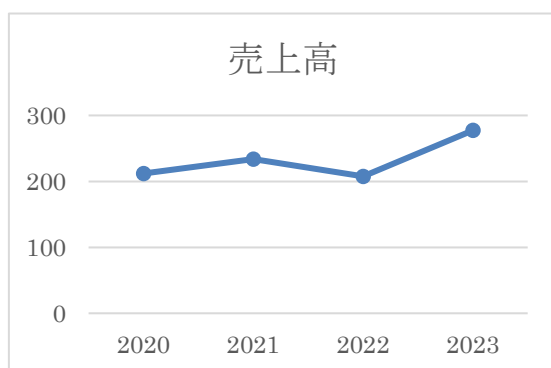
図表2 ホシデンの年間配当金の推移

・第2号議案 取締役6名選任の件

ホシデンの取締役6名が本総会終結を持って任期満了となり、以下の6名が取締役候補者となっている。候補者6名の平均年齢が70代と高齢であることや代表取締役と代表取締役副社長が長い間変わっていないことが、今後の会社運営の懸念点である。特にホシデンは総合電子部品メーカーであるため、顧客の年齢層は比較的低めであると言える。そのため、若手の育成やグローバル化社会に対応するためにも今後取締役の若返りを図る必要があるだろう。

1. 古橋 健士 氏

同氏は1991年3月よりホシデンの代表取締役を務めている。図表3から、ここ4年間の売上高は横ばいであることがわかる。今後業績向上が求められるが、約30年間取締役を務めているため経験と知見が豊富であり、またコロナ禍でも会社の経営を傾けさせなかったことを評価し、賛成とする。



図表3 ホシデンの売上高の推移

2. 北谷 晴美 氏

同氏は、入社以来、製造・営業部門他の長く携わり、豊富な経験と実績を有していると言える。また、ダイバーシティの観点から女性取締役がいることは重要であるため、賛成とする。

### 3. 堂地 龍 氏

同氏は、入社以来、主に営業部門に長く携わってきた。取締役候補者の中での唯一のホシデンの国内営業部門出身者であり、同氏の経験は会社運営に大きな利益となるだろう。また、シンガポールでの駐在経験も有しているため、ホシデンの海外市場での企業価値向上に資する者として適任である。よって賛成とする。

### 4. 水田 兼正 氏

同氏は、入社以来、海外営業部門に長く携わり、ヨーロッパや中国での豊富な経験を有している。また、2021年6月に取締役に選任されてからも海外営業部門を引き続き牽引している。現場の意見を取締役会の中に伝えることができ、貴重な人材と言える。よって賛成とする。

### 5. 堀江 廣志 氏

同氏は、税理士としての専門的識見を有し、税務署長を歴任された経験から、2017年6月よりホシデンの取締役に務めている。ホシデンの株保有数も少なく、独立性は高いと言える。よって賛成とする。

### 6. 丸野 進 氏

同氏は、長年にわたる会社勤務で培った専門知識を有している。また、2015年6月に社外監査役に選任されてからは退任するまでの間は社外監査役として、さらに、2020年6月に社外取締役に選任されてからはこれらの豊富な知識および経験を活かし、業務遂行に対する監督機能を適切に果たしてきた。ホシデンの株保有数も少なく、独立性は高いと言える。よって賛成とする。

#### ・第3号議案 監査役1名選任の件

監査役丸山征克氏は本総会終結をもって任期満了となるが、監査役候補者となっている。

#### 1. 丸山 征克 氏

同氏は1984年4月に松下電器産業（現 パナソニック）に入社して以来、長年にわたって技術者として勤務してきた。また、技術者としての経験のみならず、戦略およびマネジメント分野でも豊富な経験を有していると言える。ホシデンの株保有数も2,346株と少ないため、独立性も高いと言える。よって賛成とする。

#### ・第4号議案 補欠監査役2名選任の件

補欠監査役に選任された西村一紀氏と森正士氏の両氏の選任の効力は本総会が開催され

るまでの間とされているため、法令に定める監査役の員数を書くことに備え、補欠監査役として西村一紀氏を、補欠社外監査役として森正士氏を候補者としている。

#### 1. 西村 一紀 氏

同氏は、入社以来、主に管理部門に携わってきた。その経験から監査役としての職務を遂行できると考えられる。よって賛成とする。

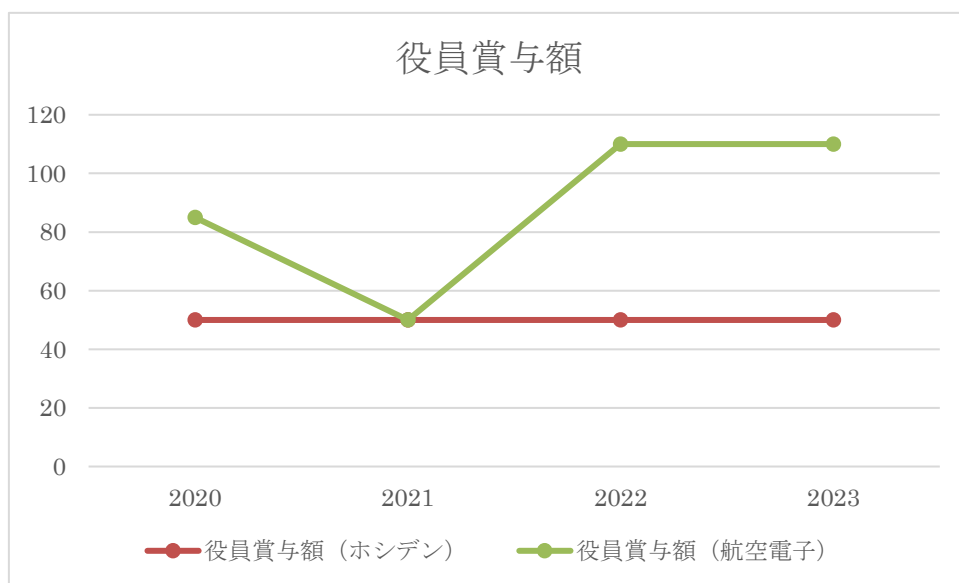
#### 2. 森 正士 氏

同氏は税理士としての専門的識見や税務署長を歴任された経験から、財務および会計に関する相当程度の知見を有していると言える。また、ホシデンの株保有数が0株であることから、独立性も非常に高いと言える。よって賛成とする。

#### ・第5号議案 役員賞与支給の件

ホシデンは「当期末時点の社外取締役を除く取締役4名に対し、当期の業績等を勘案して、役員賞与総額50百万円を支給すること」としている。この額は当期の業績と過去の支払い実績、同業他社の状況を総合的に判断した上、株主総会で総額を決議することを2022年6月29日開催の取締役会で方針として決議している。

役員賞与額の推移を図表4に示した。図表4に示されている航空電子はホシデンの競合他社である。図表4から、ホシデンは他社に比べても比較的役員賞与額は低いとわかる。また、図表3の売上高の推移から、売上高は上昇しているものの、役員賞与額は変化がないことがわかる。したがって、今年度の役員賞与額が売上高に占める割合は前年度と比べて小さくなるため、会社の資本に与える影響も小さくなる。よって賛成とする。



図表4 役員賞与額の推移

参照文献

ホシデン 2023 年定時株主総会資料

<https://www2.jpx.co.jp/disc/68040/140120230606597263.pdf>

ホシデン 2022 年定時株主総会資料

<https://www2.jpx.co.jp/disc/68040/140120220602568380.pdf>

ホシデン 2021 年定時株主総会資料

<https://www2.jpx.co.jp/disc/68040/140120210602438543.pdf>

ホシデン 2020 年定時株主総会資料

<https://www2.jpx.co.jp/disc/68040/140120200601431518.pdf>

航空電子 2023 年定時株主総会資料

<https://contents.xj->

[storage.jp/xcontents/AS06160/d6114a63/f1b1/4a40/a9c8/2c1a9a6f86cf/S100QZWO.pdf](https://storage.jp/xcontents/AS06160/d6114a63/f1b1/4a40/a9c8/2c1a9a6f86cf/S100QZWO.pdf)

航空電子 2022 年定時株主総会資料

<https://contents.xj->

[storage.jp/xcontents/AS06160/818146ed/5cbb/43c3/81af/c10f3396bade/S100OC16.pdf](https://storage.jp/xcontents/AS06160/818146ed/5cbb/43c3/81af/c10f3396bade/S100OC16.pdf)

航空電子 2021 年定時株主総会資料

<https://contents.xj->

[storage.jp/xcontents/AS06160/58cea918/4b16/4334/bfd0/72196913408f/S100LLSZ.pdf](https://storage.jp/xcontents/AS06160/58cea918/4b16/4334/bfd0/72196913408f/S100LLSZ.pdf)

航空電子 2020 年定時株主総会資料

<https://contents.xj->

[storage.jp/xcontents/AS06160/35b05980/cd3f/4a00/9998/6c96085924ae/S100ITZN.pdf](https://storage.jp/xcontents/AS06160/35b05980/cd3f/4a00/9998/6c96085924ae/S100ITZN.pdf)